

一 般 質 問

(4面～6面) 6月7日、8日、10日、11日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。QRコードをスマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

| | | | |
|----------|--------------|----------|-----------|
| (自民党・信頼) | 自由民主党・信頼の小金井 | (市民会議) | こがねい市民会議 |
| (みらい) | みらいのこがねい | (情報公開) | 情報公開こがねい |
| (日本共産党) | 日本共産党小金井市議団 | (生活者ネット) | 生活者ネットワーク |
| (公明党) | 小金井市議会公明党 | (元気!小金井) | 元気!小金井 |
| (こがおも) | 小金井をおもしろくする会 | (緑・つながる) | 緑・つながる小金井 |
| (市民カエル) | 市民といっしょにカエル会 | | |

市民目線での交通不便 地域解消を

吹春やすたか (自民党・信頼)

市の公共交通機関について、市民目線での交通不便地域解消のための工夫をしないか。(ア)貫井北町にCocoバスが運行されない理由は何か。(イ)貫井南町ではCocoバスの運行間隔が長くなり、非常に不便を感じているがその理由は何か。

部長 (ア)ルートの選定に当たってはこれまで示したとおり基本方針及び運行基準を定め、検討した。貫井北町地域は、路線バスが充実したエリアであり、交通不便地域に当たらず、路線バスとの競合を回避するため、対象地域から外した。(イ)貫井前原循環では、一部



Cocoバス

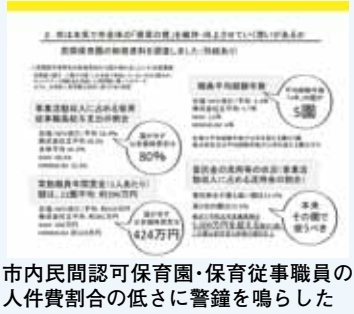


不登校での学習保障 保育の「質」について

白井亨 (こがおも)

不登校の子どもの公的な学習を保障する環境整備と、個性に応じた学習の仕組みの構築を求める。(ア)人一倍敏感な子ども(HSC)の理解について教員の研修はどう取り組むのか。(イ)PC端末を持ち帰っての活用は、(ウ)草津市が不登校の小・中学生を対象にフリースクール費の助成を始めた。我が市でもこの制度を導入しないか。(エ)子どもの学習状況の把握について、もくせい教室以外の子どもは教員が家庭と繋がっているケースに限られる。民間との連携をもっと強くないか。

部長 (ア)HSCに関する



市内民間認可保育園・保育従事職員の
人件費割合の低さに警鐘を鳴らした



小学校学区の調整 次年度以降も続行を

沖浦あつし (みらい)

第三小学校大規模化対応と当該学区からより近い小学校に通わせたい保護者ニーズへ、提案をしてきた学区の調整であるが、今年度小学一年生を対象に実施した指定校変更の弾力的運用の効果を確認する。(ア)本制度により関連する小学校の児童数・クラス数はどう変動したか。(イ)実施初年度の効果は。(ウ)全体的な成果を得るためにも、また年々続けてこそ生まれる通学時の児童たちの安心のためにも、次年度以降も本制度を実施すべきと考えるが教育委員会の見解は。

部長 (ア)第三小学校区から12人が第一小学校へ、2人が緑小学校へ指定校変更した結果、クラス数は弾力的運用を行わなかった場合と比較して、第三小学校は1クラス減となり、第一小学校と緑小学校に変動はなかった。(イ)今回講じた対策は非常に効果があった。(ウ)引き続き実施するか現時点で決定していないが、有効な手段であり、アンケート調査も含め検討する。

■その他「公民館緑分館テニスコート」の安定的な利用と整備について「自治体デジタルトランスフォーメーション推進へ、市内統一意識と組織体制、改善改革ポイントや首長としての宣誓」を質疑・要望しました。



庁舎用地の浸水対策から 見える課題

五十嵐京子 (自民党・信頼)

現在、新庁舎等建設についての準備が進んでいるが、令和元年に東京都の浸水予想区域図の変更があり、昨年実施設計の途中で設計の変更などを余儀なくされ、補正予算も必要になった。今回の浸水対策の変更過程について、課題を問う。(ア)関係課と業者も情報を共有していないが、対策が遅れた反省点は。(イ)かつて議会から庁内に専門知識のある人材を登用せよとの要望書を市長に提出した。業者が入るから大丈夫との答弁だったが、読み取る力がないことは、やはり業者では駄目で、議会からの指摘が正

しかった証明になったのではないか。(ウ)浸水対策として採用された案は、敷地に高低差ができて階段を作るなどバリアフリーの観点から適切な対応をされたのか疑問である。見解を問う。

市長 (ア)課題管理シートから設計への影響が出ることを読み取れなかったことである。(イ)今回は、専門知識のある人間の配置は直接的な問題ではない。(ウ)コストとスケジュールへの影響が少なく見込まれる方針を採用し、判断している。

■その他、再犯防止推進計画策定についての考え方を問い、十分な検討と準備を行い、実効性のある計画にするよう要望しました。



期日前投票最終日は 複数会場での実施を

小林正樹 (公明党)

①直近10年で見ると、全体的には投票率が大幅に減少傾向であることに対して、期日前投票を見ると、投票率及び投票数に対する比率は、大きく伸びている。(ア)期日前投票所の充実を着実に進めるべき。特に最終日の市役所第二庁舎の混雑状況を考え、マロンホールを土曜日会場としないか。(イ)高齢化が進む中、これまでも当日の投票所を選べる「共通投票所」の検討を要望してきたが、検討状況は。(ウ)主権者教育にも繋がる「親子連れ投票キャンペーン」を開催しないか。

局長 (ア)提案の最終日の



情緒障害児への学習 支援の取組について

古畑俊男 (元気!小金井)

(ア)情緒の障害を含む「発達障害」は他の障害と比較して社会的に認知されているとは言い難い。このような状況の中、市では小・中学校での情緒障害児を対象とした「特別支援教室」を開設し、小学生対象では3年経過した。現在までの状況や課題について問う。(イ)情緒障害児の保護者が我が子の障害を受容できないことから、相談や障害福祉サービスへの申請がされないケースも見受けられる。そのような児童・生徒、保護者に対して適切な療育や支援につなげていくために行政が取り組むべきことは。

部長 (ア)特別支援教室が導入された主な成果として、巡回指導教員と学級担任が在籍学級における児童・生徒の課題について共有し、指導の内容について改善、充実が図られたことである。これからも学校全体で教職員が特別支援教育に対する理解を更に深め、適切な支援につなげるよう対応していく。(イ)児童発達支援センター「きらり」では、18歳未満の子どもとその家族を支えることを目的に、様々なニーズに応える支援を行っている。これからも障害者に対する周知啓発を行い、気軽に相談できる環境整備に努めたい。



名勝指定100周年！ 小金井桜を活用しよう

村山ひでき (みらい)

(ア)災害時相互応援も締結している北上市の展勝地公園100周年に協力を。(イ)今年度の植樹予定は。(ウ)整備予定区間の残り3割は、他市域もあり、無理に進められないのでは。(エ)新しく植えた苗木の生育状況を把握すべき。(オ)平右衛門橋から横断歩道までの側道は小平市を参考に舗装せよ。(カ)小長久保公園に代わる苗圃の確保は。(キ)小金井桜は2024年12月9日に国の名勝指定100周年を迎える。市民参加による記念イベント合同実行委員会を設立しないか。

部長 (ア)昨年12月にヤマザクラ苗木5本を北上市に



複数会場での実施については、市民の利便の向上の点で有効な策の一つと認識しているが、限りある人員のバランスも必要となる。(イ)現時点では導入自治体の情報収集に努めたい。(ウ)検討して取り組んで参りたい。

②コロナ禍にあっても防災力の向上は必須である。「小金井市防災士会」を結成し、防災士の育成と強化を行わないか。また、土砂災害警戒区域への戸別受信機の配布、防災機能をもった公園の増設も求める。

部長 ご指摘の市内在住防災士の組織化についても一つの方向性と考えられる。今後、約130名の市内在住の防災士の個人把握に努める。